

王滝村森林鉄道保存事業

取り組みに至る背景・事業の目的

木曽谷は古くから林業で栄えた地域であり、北の旧榑川村から南の南木曽町まで森林鉄道網が構築され、大正から昭和まで半世紀以上にわたり木曽の林業の発展を担ってきた。今日では全線が廃止されているが、木曽が育ててきた林業の歩みを物語る森林鉄道の痕跡が各地に残されており、それらを再現することにより、木曽の歴史に対する認識を深め、新たな木曽谷の財産として保存継承していくことを目的に事業に取り組んだ。

事業内容

- 当時の姿を再現することにより、後世に木曽谷の林業の歴史を伝承していくため、廃線となった当時の森林鉄道軌道敷の修復、一般には見られない奥地の作業軌道に用いられた木橋の復元等を行った。
- 地域住民の連帯感や地域間交流を醸成するため、地域住民、地元児童や鉄道愛好者等のボランティアによる軌道の敷設、保存車両の修復整備活動を行った。
平成21年度軌道敷設＝150m
B型客車移転整備＝1台
- 地域のイベントや村内外の公共的団体等の要請により、体験乗車会を通じて啓発・保存活動を推進するとともに、森林鉄道施設の一般開放を行った。



【軌道延長作業】

事業効果

- 実行委員会として本格的な活動を始めてから5年目となり、軌道延長は715mとなった。村内外からの作業協力ボランティアの活動も徐々に広がりを見せ、地域協働の兆しが見えてきた。また、地元児童も作業に協力し、生きた地域の歴史教材として活用が期待される。
- 体験乗車会の開催や協力募金活動により村外からの愛好者の来訪も増え、観光面での相乗効果も出始めており、地域振興の新たな資源として期待できる。
- 軌道敷設の資材として地域の資源である間伐材を活用することにより、地域林業育成の一助としての効果があった。また、利用が低迷しているスポーツ公園の利活用、環境整備に寄与できた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 多くの地域住民の協働により活動するのが本来の趣旨であるので、より多くの賛同者を得る努力が必要である。3年毎のフェスティバルも住民こぞっての地域イベントとして継続していきたい。
- 当時の森林鉄道関係者も年々少なくなり、保全技術を継承するための若者育成や保存施設の維持管理などの課題がある。今後も会と村との協働で保存と維持管理、整備を進めたい。
- 多くの人々の協力支援により保存活動があることへの感謝を忘れず、訪れてくれる人一人ひとりを大切に、地域づくりの源となるような活動に取り組み、地域の経済効果につながる事業を展開したい。

【選定のポイント】

地域住民や鉄道愛好家らの協働により、郷土の歴史や文化、産業の遺産である森林鉄道の軌道の復元に取り組み、新たな観光資源として地域の振興に寄与した。学校教育でも授業に採り入れられるなど、今後の発展が期待される。

団体名 森林鉄道フェスティバル実行委員会（王滝村） 連絡先 事務局 南 電話 0264-48-2134 メールアドレス kyoiku@vill.otaki.nagano.jp	事業タイプ ハード事業 事業費 4,081,550円 支援金額 2,721,000円
---	--